

平成 24 年度愛媛県食品衛生監視指導計画に基づく収去検査結果について(県行政検査)

食品化学科

不良食品の流通を防止し、県民の食の安全安心を確保するため、保健所において収去した県内で製造・販売されている食品等について当所で検査を実施した。分析結果の概要は次のとおりであった。

1 食品添加物(防かび剤)

県内で流通する輸入かんきつ 10 検体に含まれる防かび剤 4 項目について検査した。その結果、イマザリル及びチアベンダゾールが検出されたものがあったが、残留基準を超えるものはなかった。(表 1)

輸入わりばし 5 検体に含まれる防かび剤 4 項目について検査した。その結果、検出されたものはなかった。

2 農産物等の残留農薬

県内産の農産物及び輸入冷凍野菜 45 検体について、各 120 農薬の分析を実施した。

検出された農薬は、イプロジオン等 7 種類であり、そのうちモロッコインゲンから残留基準を超えるクロルフェナピル(0.05ppm)が検出された。その他の農薬については、残留基準を超えるものはなかった。(表 2)

また、県内に流通している冷凍餃子等輸入冷凍食品(調理加工品)25 検体について、10 種類の有機リン系農薬の分析を実施した。その結果、混入を疑われる事例等はなかった。

3 魚介類の有機スズ化合物及び動物用医薬品

県内産の養殖魚 3 検体、天然魚 6 検体について、TBT

(トリブチルスズ化合物)、TPT(トリフェニルスズ化合物)の残留状況を調査した。その結果、許容濃度を超えるものはなかった。

また、養殖魚については併せてオキシリン酸の分析を実施したが、いずれも検出されなかった。(表 3)

4 食肉中に残留する農薬及び合成抗菌剤

県内産食肉 10 検体及び輸入食肉 10 検体について、農薬(DDT、アルドリン及びディルドリン、ヘプタクロル)及び合成抗菌剤(スルファジミジン、スルファジメトキシ

ン)の残留状況を調査したが、いずれも検出されなかった。

食肉衛生検査センターで行った県内産豚肉の抗生物質検査(簡易法)で陽性反応が認められ、サルファ剤の使用が疑われる事例があったことから、県内産豚肉 12 検体について 17 種類のサルファ剤一斉分析を行った。その結果、サルファ剤の検出はなかった。

5 遺伝子組換え食品の実態調査

遺伝子組換え作物の使用実態を把握するため、豆腐の原料大豆 25 検体の検査を実施した。その結果、いずれの検体も遺伝子組換え大豆の混入率は 5%未満であった。

6 菓子類に含まれるアレルギー物質(卵)のスクリーニング検査

県内で製造・販売された、原材料に「卵」の表示がない菓子類 20 検体について、特定原材料(卵)のスクリーニング検査を実施した。2 キットによる検査を行った結果、1 検体からそれぞれ 120 μ g/g、89 μ g/g の検出があり、卵の混入の可能性があると判断された。(表 4)

7 食品等に含まれる放射性物質検査

県内で製造、販売されている食品 172 検体について、ゲルマニウム半導体検出器を用いてセシウム 134 及びセシウム 137 を試験した結果、基準値を超えるものは認められなかった。

林業政策課からの委託により、県内で製造された木質ペレット 2 検体についてセシウム 134 及びセシウム 137 の試験を実施した。(表 5)

8 食品中の残留農薬等の試験法の妥当性評価

厚生労働省通知に基づき平成 23 年度から実施している妥当性評価について、今年度はばれいしょ等デンブンの多い野菜、穀類及び豆類の評価を実施した。(表 6)

表1 輸入かんきつにおける防かび剤の試験結果

(単位：g/kg)

	イマザリル	チアベンダゾール	オルトフェニルフェノール	ジフェニル
オレンジ	0.0009	0.0007	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	0.0021	0.0011	検出せず	検出せず
ネーブルオレンジ	0.0013	0.0007	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
ネーブルオレンジ	0.0015	0.0004	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	0.0006	検出せず	検出せず	検出せず
グレープフルーツ	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
オレンジ	0.0011	検出せず	検出せず	検出せず
オレンジ	0.0009	0.0006	検出せず	検出せず
オレンジ	0.0007	0.0002	検出せず	検出せず
定量限界	0.0003	0.0001	0.0001	0.0003
基準値	0.0050	0.010	0.010	0.070

表2 農産物における検出農薬一覧

農産物名等	農薬名	検出量(ppm)	残留基準 (ppm)
輸入冷凍えだまめ	メタキシル及びメフェノキサム	0.01	0.2
輸入冷凍青ネギ	ピリメタニル	0.03	2
モロッコインゲン	クロルフェナピル	0.05	0.01
大根 (葉)	トルフェンピラド	0.02	10
いよかん	メチダチオン	0.12	5
レタス	イプロジオン	0.01	10
ポンカン	メチダチオン	0.02	5
なつみかん (皮)	メチダチオン	0.11	5

表3 魚介類中の有機スズ化合物及び動物用医薬品試験結果

	TBT化合物 (ppm)	TPT化合物 (ppm)	オキシリン酸 (ppm)	
養殖	タイ	0.003	0.004	検出せず
養殖	タイ	0.003	0.003	検出せず
養殖	タイ	0.004	0.002	検出せず
天然	ホゴ	0.004	0.012	—
	コチ	0.004	0.019	—
	スズキ	0.016	0.003	—
	スズキ	0.006	0.002	—
	ハモ	0.004	0.016	—
	イラ	0.002	0.008	—
定量限界	0.001	0.001	0.01	

※許容濃度 TBT化合物:1.617ppm, TPT化合物:0.174ppm (体重50kgの場合、塩化物として)

表4 菓子類に含まれるアレルギー物質(卵)のスクリーニング検査結果

検体番号	結果(μg/g)		検体番号	結果(μg/g)	
	ELISAキット1	ELISAキット2		ELISAキット1	ELISAキット2
1	検出せず	検出せず	11	検出せず	検出せず
2	検出せず	検出せず	12	検出せず	検出せず
3	120	89	13	検出せず	検出せず
4	検出せず	検出せず	14	検出せず	検出せず
5	0.31	検出せず	15	検出せず	検出せず
6	検出せず	検出せず	16	検出せず	検出せず
7	検出せず	検出せず	17	検出せず	検出せず
8	検出せず	検出せず	18	検出せず	検出せず
9	検出せず	検出せず	19	検出せず	検出せず
10	検出せず	検出せず	20	検出せず	検出せず

検出限界:0.31μg/g(2キット共)

表5 放射性セシウムの検査件数(行政検査)

区分	検査件数
飲料水	50
牛乳	65
乳児用食品	51
一般食品	6
合計	172
その他(食品以外)	2

表6 食品の残留農薬等の試験法の妥当性評価の状況(平成24年度まで)

食品の種類	評価に使用した食品	検査項目	適用項目数
果実	みかん	農薬	168
ばれいしょ等デンプンの多い野菜	ばれいしょ	農薬	154
穀類	玄米	農薬	162
豆類	そらまめ	農薬	158
食肉	豚肉	動物用医薬品	2